

GCOE 国際会議出席報告書 (外国旅費用)

拠点リーダー 川合 光 殿

(ふりがな) 氏 名	やまうち だいすけ	所属・職名	指導教員名 (院生の場合)
	山内 大介	基研・D2	佐々木 節 教授
Tel,Fax e-mail	075-753-7064, yamauchi@yukawa.kyoto-u.ac.jp		
発表題名	Evolutionary effects in one bubble open inflation for string landscape		
著者名	Yamauchi(YITP), Linde(Stanford), Naruko, Sasaki, Tanaka(YITP)		
会議名称 ・開催期間	Twelfth Marcel Grossmann Meeting 自 2009年 7月 12日 ~ 至 2009年 7月 18日		
開催地 (国、市)	France, Paris		
出張期間	自 2009年 7月 11日 ~ 至 2009年 7月 20日		
国別参加者数	日本29人、フランス120人、ドイツ78人、イタリア113人、イギリス47人、アメリカ116人、ブラジル35人、他		
<p>発表内容、聴衆の反応、質疑応答、その他について簡潔に記述してください。 (口頭発表・ポスター発表の別も文中に明記すること。)</p> <p>Twelfth Marcel Grossmann Meeting (MG12) の Parallel session “SQG1 String/Brane Motivated Gravity”において、口頭発表(タイトル”Evolutionary effects inside in one-bubble open inflation for string landscape”)を15+5分で行った。内容としては、超弦理論に起因した莫大な真空(string landscape)中でのインフレーションモデル、特にインフレーションを引き起こすスカラー場の量子的トンネル効果まで考慮したモデル(open inflation)における宇宙背景放射(CMB)への影響と観測可能性について発表を行った。Session chair のほか、数名が我々の研究に対して非常に興味を示してくれ、質疑応答時に我々の評価したセットアップに関する自然さ、string landscape とインフレーションに関する他の研究との関係についての質問を受けた。先行研究において指摘されている人間原理的に許容されるインフレーションの継続時間との関連について返答するも納得してもらえず、英語の稚拙さゆえ、言いたいことを伝え切れなかったが、その場に居合わせた佐々木節教授にフォローをいれてもらい、聴衆に納得してもらうことができた。session 終了後、個人的に質問者と議論をし、理解を深めることができた。</p>			